

公益財団法人慶長遣欧使節船協会

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 7 年 6 月 1 日	市所管部署	石巻市 産業部観光政策課
-------	----------------	-------	--------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会	設立目的・経過 慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供することにより、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与すること。
法人所在地	石巻市 渡波字大森 30 番地 2	
設立年月日	平成 4 年 1 月 22 日	
代表者職・氏名	代表理事 一力 雅彦	

3 定款上の事業内容

(1) 慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
(2) 慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
(3) 船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
(4) 海事思想の普及・啓蒙
(5) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外 の出資・出捐者	市以外 の者の 出資・出捐額	市以外 の者の 出資・出捐割合
1,000,000 千円	500,000 千円	50.0 %	宮城県	500,000 千円	50.0 %
				千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	11	11	11
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0
計	12	12	12
うち市職員	2	2	2
うち市退職者	0	0	0

(2) 職員の状況

	R4期末	R5期末	R6期末
常勤	8	10	10
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	3	3	7
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	11	13	17
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的実績並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供する事により、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する事を目的とする。
①慶長遣欧使節、船舶及び海洋に関する調査研究
②慶長遣欧使節に関する資料の収集・展示
③船舶及び海洋に関する資料の収集・展示
④海事思想の普及・啓蒙
⑤宮城県の指定を受けて行う慶長使節船ミュージアムの管理運営
⑥石巻市の指定を受けて行うサン・ファン・パウティスタパークの管理運営
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
慶長使節船ミュージアム入館料	円	目標計画	0	5,648,000	20,595,000	20,925,000	21,254,000
		実績	0	3,517,500			
目標・指標の説明			入館料（高校生以下無料）収入				
目標未達の場合の要因分析			令和6年10月26日にリニューアルオープンしたが、当初予定よりも開館が遅れたことによる。				

目標項目・指標	単位		令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期
慶長使節船ミュージアム入館者	人	目標計画	0	17,272	63,000	64,000	65,000
		実績	0	10,706			
目標・指標の説明			全入館者（有料・無料）の設定				
目標未達の場合の要因分析			令和6年度のリニューアルオープンが10月となり、開館日数が予定よりも減少したため				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①第31回サン・ファン祭り ②各種パークイベント ③第5回サン・ファン号を未来へつなぐコンクール	①リニューアル工事期間中のためサンファンパークのみでの開催となったが、約12,000人の来場者があった。 ②サン・ファン祭りや渡波市民夏まつりなどのイベントが開催され、約16,000人の来場者があった。 ③小中学生を対象に実施し、約220点の応募があり、館内において表彰式及び展示を実施した。	当該事業の実施は、10月26日のリニューアルオープンまでではあったが、コロナ禍明けのイベントであったことから、積極的な周知に努め前々期を上回る集客につながった。	前々期の事業についてはコロナ禍対策による実施であったことから、各事業の集客は大幅な増加となった。
事業の公共性、公益性	徳川幕府との協力体制をとりながら果たした慶長遣欧使節派遣の意義を顕彰することは、ふるさと宮城、そして石巻における歴史的価値を高め、子ども達のみならず、県民、市民全体のふるさと意識の高揚につながり、地域振興の一助となるものである。		

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
①リニューアルオープン記念式典及びリニューアル記念企画展等の開催 ②リニューアル記念講演会の開催 ③リニューアルに伴う周知活動の実施	①10月26日のオープン記念式典の実施により広く当館のリニューアルオープンをアピールすることができた。さらに本市出身の写真家高橋由貴彦氏の写真による企画展や、朗読劇の開催等各種事業の実施により、広く当館のリニューアルオープンをアピールすることができた。 ②リニューアルを契機として、仙台藩祖伊達政宗の先進的な領国経営の歴史的意義を広めることができた。 ③ホームページやSNS、チラシ・ポスター等を刷新し、積極的な周知活動を展開することができた。	リニューアル後の各種事業の展開や積極的な広報活動、多言語化への対応等、来館者の利便性の向上も視野に入れた整備と対応により、10月26日のリニューアル後は、冬季を含んだ期間であるにも関わらず、入館者数は1万人を超えることができた。 ・入館者実績 10,706人 （開館日数 128日） 今後、好調な入館者数をさらに増加させるために、積極的な事業展開、周知活動等を充実させていく必要がある。	これまで休館中であったことから、リニューアルに向けた積極的な周知の徹底と、再開に向けた各種事業の展開により、好調な入館者数となった。
事業の公共性、公益性	戦国時代から幕府による統治に移行する平和的な社会体制に変化する中で、伊達政宗の先進的な領国経営の視点を支倉常長の偉業とともに広くアピールすることにより、歴史観光の拠点として地域の振興と活性化に寄与するもの。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人慶長遣欧使節船協会
------	-----------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動資産	96,127,852	96,617,412	489,560	108,078,766	11,461,354
	うち 現金・預金	95,551,174	96,294,626	743,452	106,758,520	10,463,894
	固定資産	1,070,107,469	1,038,008,406	▲ 32,099,063	958,964,731	▲ 79,043,675
	(1) 基本財産	1,063,120,300	1,031,958,700	▲ 31,161,600	952,498,100	▲ 79,460,600
	(2) 特定資産	0	0	0	0	0
	(3) その他の固定資産	6,987,169	6,049,706	▲ 937,463	6,466,631	416,925
	資産の合計	1,166,235,321	1,134,625,818	▲ 31,609,503	1,067,043,497	▲ 67,582,321
	貸方（科目）	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	流動負債	13,047,970	13,082,955	34,985	27,412,793	14,329,838
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	0	0	0	0	0
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	13,047,970	13,082,955	34,985	27,412,793	14,329,838
	正味財産	1,153,187,351	1,121,542,863	▲ 31,644,488	1,039,630,704	▲ 81,912,159
	指定正味財産	1,063,120,300	1,031,958,700	▲ 31,161,600	952,498,100	▲ 79,460,600
	うち 基本財産への充当額	1,063,120,300	1,031,958,700	▲ 31,161,600	952,498,100	▲ 79,460,600
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	一般正味財産	90,067,051	89,584,163	▲ 482,888	87,132,604	▲ 2,451,559
	うち 基本財産への充当額	0	0	0	0	0
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	負債・正味財産の合計	1,166,235,321	1,134,625,818	▲ 31,609,503	1,067,043,497	▲ 67,582,321

正味財産増減計算書	科目	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	2,921,538	▲ 482,888	▲ 3,404,426	▲ 2,451,559	▲ 1,968,671
	経常増減の部	2,993,538	▲ 307,826	▲ 3,301,364	▲ 2,379,559	▲ 2,071,733
	経常収益	174,114,121	134,053,465	▲ 40,060,656	181,086,589	47,033,124
	経常費用	171,120,583	134,361,291	▲ 36,759,292	187,359,748	52,998,457
	評価損益等計	0	0	0	3,893,600	3,893,600
	経常外増減の部	▲ 72,000	▲ 175,062	▲ 103,062	▲ 72,000	103,062
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	0	103,062	103,062	0	▲ 103,062
	法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0	72,000	0
	一般正味財産期首残高	87,145,513	90,067,051	2,921,538	89,584,163	▲ 482,888
	一般正味財産期末残高	90,067,051	89,584,163	▲ 482,888	87,132,604	▲ 2,451,559
	指定正味財産増減の部	▲ 42,754,000	▲ 31,161,600	11,592,400	▲ 79,460,600	▲ 48,299,000
	指定正味財産増減額	▲ 42,754,000	▲ 31,161,600	11,592,400	▲ 79,460,600	▲ 48,299,000
	指定正味財産期首残高	1,105,874,300	1,063,120,300	▲ 42,754,000	1,031,958,700	▲ 31,161,600
	指定正味財産期末残高	1,063,120,300	1,031,958,700	▲ 31,161,600	952,498,100	▲ 79,460,600
	正味財産期末残高	1,153,187,351	1,121,542,863	▲ 31,644,488	1,039,630,704	▲ 81,912,159

（※）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュ・フロー計算書（C/S）	区分	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
	事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 23,853,994	▲ 15,367,095	8,486,899	▲ 41,336,537	▲ 25,969,442
	当期一般正味財産増減額	2,993,538	▲ 410,888	▲ 3,404,426	▲ 2,379,559	▲ 1,968,671
	キャッシュフローへの調整額	15,906,468	16,205,393	298,925	28,885,622	12,680,229
	指定正味財産増加収入	▲ 42,754,000	▲ 31,161,600	11,592,400	▲ 67,842,600	▲ 36,681,000
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	投資活動によるキャッシュ・フロー	22,103,818	16,110,547	▲ 5,993,271	51,800,431	35,689,884
	投資活動収入	22,124,268	16,130,997	▲ 5,993,271	893,476,643	877,345,646
	投資活動支出	▲ 20,450	▲ 20,450	0	▲ 841,676,212	▲ 841,655,762
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,750,176	743,452	2,493,628	10,463,894	9,720,442
	現金及び現金同等物期首残高	97,301,350	95,551,174	▲ 1,750,176	96,294,626	743,452
	現金及び現金同等物期末残高	95,551,174	96,294,626	743,452	106,758,520	10,463,894

（※1）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和4年度期	令和5年度期	前期増減	令和6年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	450,000	0	▲ 450,000	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	450,000	0	▲ 450,000		0
委託料及び指定管理料	40,000,000	40,000,000	0	40,000,000	0
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	500,000,000	500,000,000	0	500,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

令和6年10月26日のリニューアルオープンにより未払金等の支出経費が増加したことから、負債が増加した。
また、金利上昇等の影響により投資有価証券の期末時価評価額が減額となり、正味財産合計額が減少した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
流動資産	現金預金	10,463,894円の増	リニューアル開館による入館料等の増
固定資産	投資有価証券	79,460,600円の減	期末時価評価額の減
流動負債	未払金	14,831,347円の増	リニューアル開館による維持費の増

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和6年10月26日のリニューアルオープンにより指定管理料や入館料などの収入が増加したが、それに向けた職員採用や、維持管理経費が前年度に比し増加している。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
経常収益	事業収益	41,151,657円の増	リニューアル開館に伴う指定管理料等の増
	国庫補助金	5,000,000円の増	観光庁補助金
経常費用	給料手当	4,034,518円の増	リニューアル開館に向けての職員の採用に伴う増額

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

投資有価証券（国債等）の評価額が年々減少傾向にあり、経済状況の影響により期末時価評価額の減少額が増加した。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
事業活動によるキャッシュフロー	基本財産増収収入	36,681,000円の減	期末時価評価額の減少額が増加

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
指定管理料	40,000,000	サン・ファン・パウティスタパーク管理運営費

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人慶長遣欧使節船協会

担当部署名：産業部観光政策課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

目標だけ見れば未達であるが、本来のリニューアルオープンより遅れ、令和6年10月26日からオープンという事実を考慮すれば目標に向けて尽力していたということは明らかであり、評価に値する。

（2）主要事業の成果、課題

サン・ファン祭りはリニューアル工事期間中のためサン・ファンパークのみでの開催となったが、約12,000人の入れ込みがあり、前期、前々期よりも来場者数の回復が見られた。他にも地元団体が主催するイベント等にも協力し、休館中の枠にとらわれない施設の活用を推進した。

また従来は県内小中学生を対象として実施していた絵画作品コンクールを全国の小中学生にまで参加対象を拡大し継続実施したことも、施設PRや慶長遣欧使節文化の継承、啓発に寄与したものと思われる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

正味財産比率は97.4%、流動比率は394.2%、固定比率は92.2%と、いずれの指標も良好な水準となっていることから、財務基盤の安全性についても問題ないといえる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

リニューアルオープンしたことによって、利用料金収入とグッズ事業収益が増加。経営健全化に向けて順調である。7年度についてはリニューアルオープン後初の年間を通しての開館となるため、より一層の運営に力を入れていただきたい。

また、総資産経常利益率は-0.2%と軽微なマイナスであるが、正味財産比率や流動比率が良好であり、一時的なものであると考えるため、問題ないといえる。

(3) キャッシュフロー計算書

本業である事業活動からのキャッシュアウトが大きい一方、一方で投資活動による資金流入で全体の資金繰りは回っているため、資金ショート心配はないと思われる。

7年度についてはリニューアルオープン後初の年間を通しての開館となるため、より一層の運営に力を入れていただきたい。

(4) 市による財政・金融支援等

石巻市サン・ファン・バウティスタパーク指定管理料として支出している金額であるが、適正価格であるかどうかの是非検討も含め、適正かつ効果的・効率的な運営に努められるよう、指定管理者と協議を密に行い、引き続き共同して施設の活用、運営指導を行っていききたい。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

慶長遣欧使節等の大航海時代の歴史的事跡並びに船舶及び海洋に関する学習・体験の場を提供し、地域の振興及び青少年の健全育成に寄与する目的を果たす上においても、市民が参加しやすい企画・イベント等の創意工夫を重ね、ひいては入館者数の増加につながるよう期待したい。

また、慶長使節船ミュージアムのリニューアルに伴い、海外との交流を行っていた歴史的背景を後世に伝え続ける意味でも、市民、国内のみならずインバウンド観光客向けのハード面・ソフト面での充実を図り、交流人口の拡大に寄与することを期待する。

また、体験コンテンツ等の開発により観光施設のみならず、併せ持つ学習施設としての側面を最大限に活用することにも期待し、市街地と半島部の中間点に位置している視点からも、地域の拠点施設となるよう、運営体制の強化にも期待する。